

PCT/JP2004/014549

日 本 国 特 許 庁
JAPAN PATENT OFFICE

27. 9. 2004

REC'D 11 NOV 2004

WIPO PCT

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2003年 9月25日

出 願 番 号
Application Number: 特願2003-333644
[ST. 10/C]: [JP2003-333644]

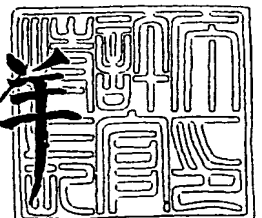
出 願 人
Applicant(s): 松下電器産業株式会社
トヨタ自動車株式会社

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2004年10月28日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

小 川 洋



BEST AVAILABLE COPY

出証番号 出証特2004-3097468

【書類名】 特許願
【整理番号】 2908559006
【提出日】 平成15年 9月25日
【あて先】 特許庁長官殿
【国際特許分類】 G08G 1/09
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 佐草 敦
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 柿原 瑞穂
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 板橋 敏行
【発明者】
 【住所又は居所】 大阪府門真市大字門真 1 0 0 6 番地 松下電器産業株式会社内
 【氏名】 岩崎 守男
【発明者】
 【住所又は居所】 愛知県豊田市トヨタ町 1 番地 トヨタ自動車株式会社内
 【氏名】 岡本 正人
【発明者】
 【住所又は居所】 愛知県豊田市トヨタ町 1 番地 トヨタ自動車株式会社内
 【氏名】 谷澤 昌宏
【特許出願人】
 【識別番号】 000005821
 【氏名又は名称】 松下電器産業株式会社
【特許出願人】
 【識別番号】 000003207
 【氏名又は名称】 トヨタ自動車株式会社
【代理人】
 【識別番号】 100072604
 【弁理士】
 【氏名又は名称】 有我 軍一郎
 【電話番号】 03-3370-2470
【手数料の表示】
 【予納台帳番号】 006529
 【納付金額】 21,000円
【提出物件の目録】
 【物件名】 特許請求の範囲 1
 【物件名】 明細書 1
 【物件名】 図面 1
 【物件名】 要約書 1
 【包括委任状番号】 9908698

【書類名】 特許請求の範囲**【請求項 1】**

映像および音声を入力する入力手段と、自車の走行情報を処理する走行情報処理手段と、前記入力手段に入力された映像および音声並びに前記走行情報処理手段で処理された走行情報を外部に送信するとともに、外部からの情報を受信する通信手段と、前記通信手段によって受信した情報を出力する出力手段とを備え、

前記出力手段は、前記外部からの情報として前記通信手段が受信した他車からの映像および音声を出力し、

前記走行情報処理手段は、前記通信手段が受信した他車の走行情報処理手段からの走行情報に基づいて自車の走行を制御することを特徴とする車載コミュニケーション装置。

【請求項 2】

前記出力手段は、表示画面を有し、他車の搭乗者の顔を前記表示画面に表示することを特徴とする請求項 1 記載の車載コミュニケーション装置。

【請求項 3】

前記出力手段は、自車および他車の映像を疑似的に表示する表示画面を有するとともに、前記走行情報処理手段は、他車の走行情報処理手段からの走行情報に基づき、自車の目的地を他車の目的地と同一の目的地に変更する処理を実行した後、同一の目的となった車両の疑似映像を結ぶように前記表示画面を表示制御することを特徴とする請求項 1 または 2 記載の車載コミュニケーション装置。

【請求項 4】

前記走行情報処理手段は、自車の目的地を他車の目的地と同一の目的地に変更する処理を実行したときに、他車から送信される走行情報として走行ルート情報を前記出力手段によって出力することを特徴とする請求項 1 乃至請求項 3 何れかに記載の車載コミュニケーション装置。

【書類名】明細書

【発明の名称】車載コミュニケーション装置

【技術分野】

【0001】

本発明は、映像／音声の入出力手段を備えたナビゲーション装置等に適用することができ、他車との間で映像／音声の遣り取りを行うことができるとともに他車と走行情報を共有することができる車載コミュニケーション装置に関する。

【背景技術】

【0002】

一般に、所謂、ミニバン等のように多人数が搭乗する車両にあっては、搭乗者同士で会話を行うことができることから、快適、かつ楽しいドライブを行うことができる。

【0003】

ところが、ミニバンのように多人数が同乗せずに、1人で搭乗する乗用車やミニバンであっても1人で運転を行うような場合には、搭乗者間で会話がなく、退屈なことが多い。

【0004】

このような不具合を少しでも解消できるものとしては、特許文献1に示すコミュニケーション型のナビゲーション装置がある。特許文献1に示すものは、ナビゲーション装置を装備した車両同士で直接に位置情報の無線交信を行うことにより、他車の位置情報をホストを経由しないでスムーズに取得して、その位置を自車の位置と共に同じ地図上に表示でき、また直接交信した特定の他車以外の他車の位置情報も同時に取得でき、しかも交信を行う他車を任意に選択および増減することができるようにしたものである。

【0005】

したがって、特許文献1に示すナビゲーション装置を具備した車両にあっては、他車の搭乗者と会話を行うことができないものの、他車と自車を地図上に表示することで相手の場所を把握することができ、あたかも同じ車両に第三者が搭乗者したような気分を味わうことができ、飽きの来ないドライブを行うことができる。

【特許文献1】特開平10-185595号公報（【0005】、図2参照）

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0006】

しかしながら、このようなナビゲーション装置にあっては、他車の位置を把握することができるだけで、他車の搭乗者の映像を見たり、音声を聞くことができないという問題があった。また、自車の走行情報を他車の走行情報に合わせることができず、自車と他車との間で走行情報の共有を行うことができないという問題があった。

【0007】

本発明はこのような問題を解決するためになされたもので、映像および音声により他車の搭乗者と通信を行うことができるとともに、自車と他車との間で走行情報の共有を行うことができる車載コミュニケーション装置を提供するものである。

【課題を解決するための手段】

【0008】

本発明の車載コミュニケーション装置は、映像および音声を入力する入力手段と、自車の走行情報を処理する走行情報処理手段と、前記入力手段に入力された映像および音声並びに前記走行情報処理手段で処理された走行情報を外部に送信するとともに、外部からの情報を受信する通信手段と、前記通信手段によって受信した情報を出力する出力手段とを備え、前記出力手段は、前記外部からの情報として前記通信手段が受信した他車からの映像および音声を出力し、前記走行情報処理手段は、前記通信手段が受信した他車の走行情報処理手段からの走行情報に基づいて自車の走行を制御するものから構成される。

【0009】

この構成により、出力手段に他車の映像および音声を出力することにより、他車の搭乗者を音声および画像によって把握することができる上に、自車に1人で搭乗した場合であ

っても、自車に同乗者が存在するが如く他車の搭乗者と会話を行うことができ、飽きの来ない運転を行うことができる。また、通信する車両が多ければその分だけ他車の搭乗者の映像や音声を出力することができるので、多人数で会話を行うことができる。

【0010】

また、他車の走行情報に基づいて自車の走行を制御するので、自車と他車との間で走行情報の共有を行うことができる。ここで言う他車の走行情報とは、例えば、目的地や他車の現在位置から目的地までの走行ルート情報等のことであり、本発明は、他車の目的地や走行ルート情報に応じて自車の目的地や走行ルート情報を自動的に変更して、自車を他車に追従させることができる。

【0011】

また、本発明の車載コミュニケーション装置は、前記出力手段は、表示画面を有し、他車の搭乗者の顔を前記表示画面に表示するものから構成される。

【0012】

この構成により、他車の搭乗者の顔を映像として表示画面に表示するので、他車の搭乗者を簡単に把握することができる。

【0013】

また、本発明の車載コミュニケーション装置は、前記出力手段は、自車および他車の映像を疑似的に表示する表示画面を有するとともに、前記走行情報処理手段は、他車の走行情報処理手段からの走行情報に基づき、自車の目的地を他車の目的地と同一の目的地に変更する処理を実行した後、同一の目的となった車両の疑似映像を結ぶように前記表示画面を表示制御するものから構成される。

【0014】

この構成により、目的地の変更が行われて自車の目的地と同一の目的地となった他車を簡単に把握することができ、他車の搭乗者があたかも自車に搭乗しているような感覚で同一の目的地まで走行することができ、飽きの来ないドライブを行うことができる。

【0015】

また、本発明の車載コミュニケーション装置は、前記走行情報処理手段は、自車の目的地を他車の目的地と同一の目的地に変更する処理を実行したときに、他車から送信される走行情報として走行ルート情報を前記出力手段によって出力するものから構成される。

【0016】

この構成により、自車を追従走行とし、他車を被追従走行とした場合に、目的地に到達するまでの間に、他車から自車に送信される走行ルート情報を出力手段から出力するので、この走行ルート情報に基づいて他車に追従して目的地まで走行を行うことができる。このため、自車内で表示される地図情報を見る手間を省け、運転手の負担を軽減することができる。

【発明の効果】

【0017】

以上説明したように、本発明は、他車の搭乗者と映像および音声で通信を行うことができるとともに、自車と他車との走行情報の共有を行うことができる車載コミュニケーション装置を提供することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0018】

以下、本発明の実施の形態について、図面を用いて説明する。

【0019】

図1乃至図5は、本発明に車載コミュニケーション装置の一実施の形態を示す図である。

【0020】

まず、構成を説明する。図1において、A車、B車およびC車にはナビゲーション装置(車載コミュニケーション装置)1、2、3がそれぞれ搭載されており、各ナビゲーション装置1乃至3は相互に通信を行うようになっている。

【0021】

ナビゲーション装置 1 乃至 3 はカメラ 11、マイク 12、液晶ディスプレイ 13、スピーカ 14、操作部 15、通信部 16、走行制御部 17、GPS (Global Positioning System) 受信機 18、自律航法センサ 19、地図情報記憶部 20 およびメモリ 21 を含んで構成され、各装置 11 乃至 21 はバス 22 によって接続されている。

【0022】

カメラ 11 は運転席の前方に設けられており、運転手を撮像して撮像結果を A/D 変換して走行制御部 17 に転送するようになっている。マイク 12 は音声を入力するものであり、入力情報を A/D 変換して走行制御部 17 に転送する。本実施の形態では、カメラ 11 およびマイク 12 が入力手段を構成している。なお、カメラ 11 は運転手の前方ではなく、助手席や後部座席に設けられていても良い。何故なら、車両に搭乗している人を撮像できれば良いからである。

【0023】

液晶ディスプレイ 13 は表示画面に走行ルートを含んだ地図を表示するようになっている。また、液晶ディスプレイ 13 は他の車両の搭乗者の顔の映像を出力するとともに自車および他車の映像を自車のマークで疑似的に表示するようになっている。

【0024】

具体的には、例えば、A 車の液晶ディスプレイ 13 は、B 車、C 車の搭乗車の映像 B1、B2 を表示するとともに、B 車、C 車の搭乗車の映像 B1、C1 の下方に B 車、C 車を自動車のマーク B2、C2 として疑似的に表示する。これに加えて、A 車を自動車のマーク A2 として疑似的に表示し、A 車と B 車および C 車とを明確に区別できるように A 車のマーク A2 は他車のマーク B2、C2 よりも大きく表示する。

【0025】

スピーカ 14 は車両の運転に関する種々の情報を音声によって出力するようになっており、本実施の形態では、他車の搭乗者の音声や走行ルート情報を出力するようになっている。本実施の形態では、液晶ディスプレイ 13 およびスピーカ 14 が出力手段を構成している。

【0026】

操作部 15 は液晶ディスプレイ 13 上に設けられたタッチパネルや液晶ディスプレイ 13 とは別体のタッチパネル等から構成されており、目的地の設定や液晶ディスプレイ 13 の表示画面の切り換え等のようにナビゲーション装置 1 乃至 3 の種々の操作/設定に関する入力を行うようになっている。

【0027】

通信部 (通信手段) 16 は他車の通信部 16 との間で通信を行うようになっており、通信部 16 にカメラ 11 で撮像された映像、マイク 12 から入力される音声および後述する走行制御部 17 によって処理される走行情報を送信したり、他車の通信部 16 から送信される他車の搭乗者の映像/音声および他車の走行情報を受信するようになっている。

【0028】

具体的には、通信部 16 は携帯通信端末を備えており、複数の他車の通信部 16 を発呼し、回線が接続されると、他車の通信部 16 との間で映像/音声のやり取りを行ったり、他車の通信部 16 に走行情報を送信するようになっている。また、通信部 16 は他車から着呼があると回線を接続して他車の通信部 16 との間で映像/音声のやり取りを行ったり、走行情報を受信するようになっている。

【0029】

走行制御部 (走行情報処理手段) 17 は各ナビゲーション装置 1 乃至 3 の全体を制御する CPU から構成されており、GPS 受信機 18、自律航法センサ 19、地図情報記憶部 20 およびメモリ 21 からの情報に基づいてナビゲーション処理、他車の目的地の変更処理および走行情報のやり取りを行ったり、液晶ディスプレイ 13 の表示制御を行うようになっている。

【0030】

GPS受信機18は人工衛星からの送信電波を受信することにより車両の現在位置を検知するようになっており、この検知信号を走行制御部17に出力する。自律航法センサ19は車速センサや加速度センサ等の距離センサやジャイロスコープ等の方位センサ等のセンサからなり、これらセンサの検知信号を走行制御部17に出力する。

【0031】

走行制御部17はGPS受信機18および自律航法センサ19からの入力信号を相互に補正することで正確な車両現在位置を算出するようになっている。地図情報記憶手段20はCD-ROM、DVD、メモリカード等の記録媒体から構成されており、地図情報を走行制御部17に出力するようになっている。なお、地図情報は、インターネット回線を介してインターネット上のサーバから取得しても良い。

【0032】

走行制御部17はこの地図情報と算出された自車位置を液晶ディスプレイ13上に出力する。また、走行制御部17は操作部15によって目的地が入力されると、メモリ21に記憶されたナビゲーションプログラムに従って、車両現在位置から操作部15により入力された目的地までの最適経路を探索する経路探索処理、探索された最適経路を音声によりスピーカ14から出力して案内を実行する経路案内処理、車両現在位置に応じた地域の地図画像を液晶ディスプレイ13に表示する表示処理等を行う。

【0033】

また、自車の走行制御部17は通信部16を介して他車に自車の走行情報、例えば、目的地、走行ルート情報等の走行情報を送信するようになっており、他車の走行制御部17は、この走行情報に基づいて目的地を変更するとともに、この走行ルート情報および自車の現在位置に基づいて自車の走行ルート情報をスピーカ14から出力してルート案内を行う。また、自車または他車の走行制御部17は、目的地が同一の目的となった場合に、液晶ディスプレイ13に表示された疑似的な車両の映像を線で結ぶようになっている。

【0034】

メモリ21にはナビゲーションプログラムが記憶されている。また、メモリ21には目的地（例えば、目的地の名称「軽井沢駅」や、目的地の電話番号、目的地の住所、目的地の位置（東経北緯））が行き先情報として記憶されているとともに、ルート情報として目的地までのルート上の交差的、目立つ建築物、それらの交差点や建築物の位置（東経北緯）が記憶されており、走行制御部17は、運転手が操作部15を操作するとメモリ21から目的地情報やルート情報等の走行情報を読み出して通信部16から他車に走行情報として送信する。

【0035】

また、メモリ21には、車両の走行ルートを表す走行ルート情報が格納される。例えば、目的地までの経路が設定されている場合には、右折または左折を要する交差点についての案内用音声（例えば「次の交差点を右方向です」との案内用音声）のデータや、同交差点の名称（例えば、〇〇交差点）のデータ等が格納されている。

【0036】

次に、このように構成された車両用ナビゲーション装置1乃至3の動作について説明する。図3はナビゲーション装置1乃至3間において映像／音声の遣り取りとナビゲーション処理信号の遣り取りを行うときのシーケンス図、図4は液晶ディスプレイ13の表示例、図5は被追従走行のA車と、A車を追従する追従走行のB車およびC車との間のデータの流れを示すブロック図である。

【0037】

本実施の形態では、予め、B車、C車においてはそれぞれの車両の運転手によりナビゲーション装置2、3の目的地として「軽井沢駅」が設定されており、A車の目的地にはB車、C車とは異なる「上高地駅」が設定されているものとする。

【0038】

まず、図3のシーケンス図において、A車では、操作部15の操作によりB車、C車に対して映像／音声の通信を行うか否かの問い合わせを行う。このとき、走行制御部17は操

作部 15 の操作によりメモリ 21 から B 車、C 車の電話番号を読み出した後、映像／音声の通信を行うための問い合わせ信号を送信する。

【0039】

B 車、C 車では、通信部 16 で問い合わせ信号を受信すると、走行制御部 17 が液晶ディスプレイ 13 に「A 車の運転手から映像／音声の通信の問い合わせが来ています。」という表示を行うか、スピーカ 14 から「A 車の運転手から映像／音声の通信の問い合わせが来ています。」という音声を出力する。

【0040】

なお、操作部 15 により A 車の運転手の名前を予めメモリ 21 に登録しておき、A 車の運転手という表現の代りに「〇〇さんから」と表現しても良い。

【0041】

B 車、C 車の運転手は A 車の運転手と映像／音声による通信を了承すると、通信部 16 により A 車の通信部 16 との回線を接続し、カメラ 11 およびマイク 12 から入力される映像／音声を A 車に送信する。

【0042】

A 車では図 2 に示すように、液晶ディスプレイ 13 に B 車、C 車の運転手の映像 B1、C1 および B 車、C 車の映像を疑似的に表わすマーク B2、C2 を表示するとともに、スピーカ 14 から B 車、C 車の運転手の音声を出力する。このため、A 車と B 車および C 車間で映像／音声による通信をリアルタイムで行うことができる。

【0043】

また、このときに B 車、C 間でも回線を接続することにより、A 車、B 車、C 車相互で通信を行う。すなわち、B 車の液晶ディスプレイ 13 には A 車、C 車の運転手の映像が、C 車の液晶ディスプレイ 13 には A 車、B 車の運転手の映像が表示されるので、A 車乃至 C 車のそれぞれの運転手は 3 人が同じ車両に同乗したかのように 3 人で会話を行うことができる。

【0044】

次いで、目的地が同一である B 車および C 車を A 車に追従走行させたい場合には、A 車から B 車、C 車に目的地変更信号を送信する。この目的地変更信号は、例えば、軽井沢駅を表わす信号であり、B 車、C 車の通信部 16 は A 車の通信部 16 から目的地変更信号を受信すると、走行制御部 17 がスピーカ 14 から「目的地を軽井沢駅に変更しても宜しいですか」という音声を出力する。

【0045】

B 車、C 車で操作部 15 により変更を許可する操作を行うと、B 車、C 車の走行制御部 17 が通信部 16 から A 車の走行制御部 17 に許可信号を送信する。A 車は走行制御部 17 が目的地の情報と自車位置から目的地までの走行ルートをもとに B 車、C 車に送信する。

【0046】

B 車、C 車は通信部 16 が目的地と目的地までの走行ルート情報を受信すると、走行制御部 17 はこの目的地情報と走行ルート情報をメモリ 21 に記憶するとともに、走行制御部 17 により設定された目的地と走行ルート情報をメモリ 21 に記憶された目的地と走行ルート情報に書き換える。この結果、図 5 に示すように、被追従走行の A 車と A 車に追従走行の B 車、C 車の関係が成立し、B 車、C 車は A 車に追従して目的地まで走行するようになる。

【0047】

また、A 車の通信部 16 が許可信号を受信すると、走行制御部 17 が液晶ディスプレイ 13 を制御して図 4 に示すように A 車のマーク A2 と B 車、C 車のマーク B2、C2 を線で結ぶ。

【0048】

また、A 車は通信部 16 により B 車、C 車の両方に対して目的地が同一になったことを通知することにより、B 車の走行制御部 17 は液晶ディスプレイ 13 を制御して A 車のマーク B2 と B 車、C 車のマーク B2、C2 を線で結び、C 車の走行制御部 17 は液晶ディ

スプレイ 13 を制御して C 車のマーク C 2 と A 車、B 車のマーク A 2、B 2 を線で結ぶ。

【0049】

また、被追従走行の A 車は B 車、C 車に対して目的地まで先行して走行しているので、A 車の走行制御部 17 は目的地までのルートの交差点を右折、または左折する毎に、例えば、「〇〇交差点を右方向」というような案内データ（走行ルート情報）を A 車に追従走行の B 車、C 車に送信する。

【0050】

B 車、C 車の走行制御部 17 はこの走行ルート情報をメモリ 21 に格納し、その走行ルートに近づくと、スピーカ 14 から「間もなく、〇〇交差点です。〇〇交差点を右折して下さい」という音声を出力する。追従走行の B 車、C 車の運転手は被追従走行の A 車から走行ルート情報を聞きながら A 車に追従して A 車と共に目的地まで走行する。

【0051】

このように本実施の形態では、A 車に B 車および C 車からの映像／音声を出力するようにしているので、B 車、C 車の運転手を映像／音声によって把握することができる上に、A 車に 1 人で搭乗した場合であっても、車両に同乗者が存在するが如く B 車、C 車の運転手と会話を行うことができ、飽きの来ない運転を行うことができる。また、通信する車両が多ければその分だけ他車の搭乗者の映像や音声を出力することができるので、多人数で会話を行うことができる。

【0052】

また、A 車の走行情報に基づいて B 車、C 車の走行を制御するので、A 車、B 車、C 車の相互間で走行情報の共有を行うことができる。具体的には、A 車の目的地や走行ルートに応じて B 車、C 車の目的地や走行ルートを自動的に変更して、B 車、C 車を A 車に追従させることができる。

【0053】

また、映像／音声による通信を行うときに、A 車、B 車、C 車の相互間で他車の運転手の顔を映像として液晶ディスプレイ 13 に表示するので、他車の運転手を簡単に把握することができる。

【0054】

また、A 車からの走行情報に基づいて B 車、C 車の目的地を A 車の目的地と同一の目的地に変更したときに、液晶ディスプレイ 13 上の同一の目的となった車両のマーク A 2、B 2、C 2 を結ぶようにしたので、目的地の変更が行われて自車の目的地と同一の目的地となった他車を簡単に把握することができ、他車の搭乗者があたかも自車に搭乗しているような感覚で同一の目的地まで走行することができ、飽きの来ないドライブを行うことができる。

【0055】

また、B 車、C 車を追従走行とし、A 車を被追従走行とした場合に、目的地に到達するまでの間に、B 車、C 車は A 車から送信される走行ルート情報をスピーカ 14 から出力するので、この走行ルート情報に基づいて A 車に追従して目的地まで走行を行うことができる。このため、B 車、C 車内で表示される地図情報を見る手間を省け、B 車、C 車の運転手の負担を軽減することができる。

【0056】

なお、本実施の形態では、通信部 16 によりナビゲーション装置 1、2、3 相互で直接通信を行っているが、これに限らず、インデックスサーバ等を備えたセンター装置を介して通信を行うようにしても良い。この場合、センター装置は通信部 16 から電話番号を受信すると、その電話番号に対応するナビゲーション装置を検索して着呼し、着呼側のナビゲーション装置と発呼側のナビゲーションの回線を接続して、映像／音声のやり取りや走行情報のやり取りを行う。

【産業上の利用可能性】

【0057】

以上のように、本発明に係る車載コミュニケーション装置は、他車の搭乗者と映像およ

び音声で通信を行うことができるとともに、自車と他車との走行情報の共有を行うことができるという効果を有し、映像／音声の入出力手段を備えたナビゲーション等に適用すれば有用である。

【図面の簡単な説明】

【0058】

【図1】本発明の一実施の形態に係る車載コミュニケーション装置のブロック図

【図2】本発明の一実施の形態に係る車載コミュニケーション装置の液晶ディスプレイの表示例

【図3】本発明の一実施の形態に係る車載コミュニケーション装置において映像／音声の遣り取りとナビゲーション処理信号の遣り取りを行うときのシーケンス図

【図4】本発明の一実施の形態に係る車載コミュニケーション装置の液晶ディスプレイの表示例

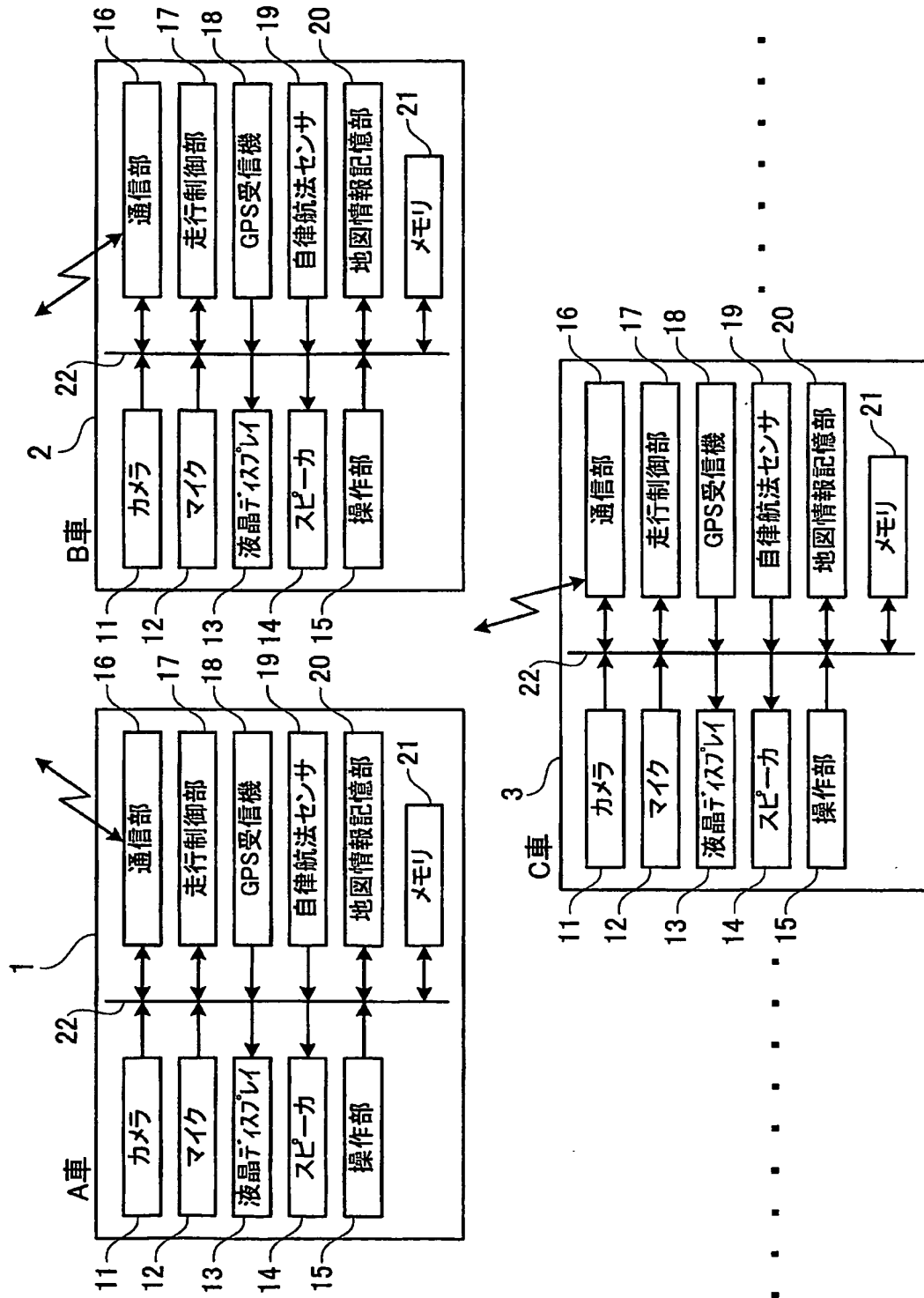
【図5】本発明の一実施の形態に係る車載コミュニケーション装置の追従走行を行う車両と被追従走行を行う車両の関係を示す図

【符号の説明】

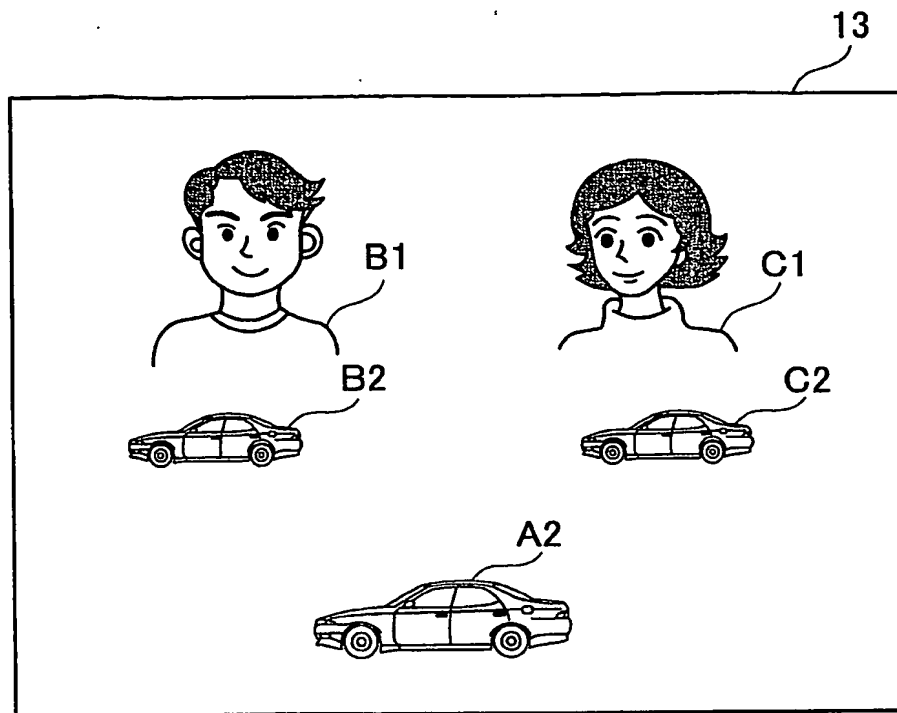
【0059】

- 1、2、3 ナビゲーション装置（車載コミュニケーション装置）
- 11 カメラ（入力手段）
- 12 マイク（入力手段）
- 13 液晶ディスプレイ（出力手段、表示画面）
- 14 スピーカ（出力手段）
- 16 通信部（通信手段）
- 17 走行制御部（走行情報処理手段）

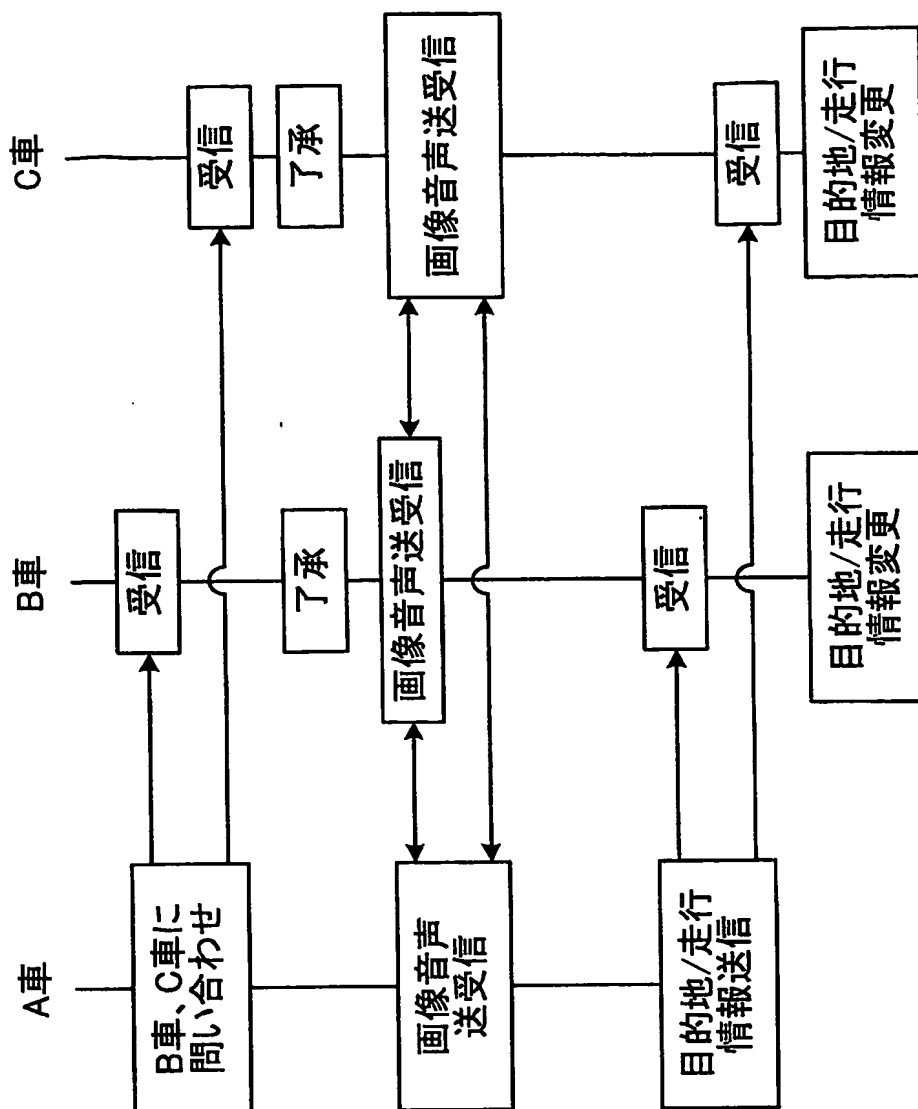
【書類名】 図面
【図 1】



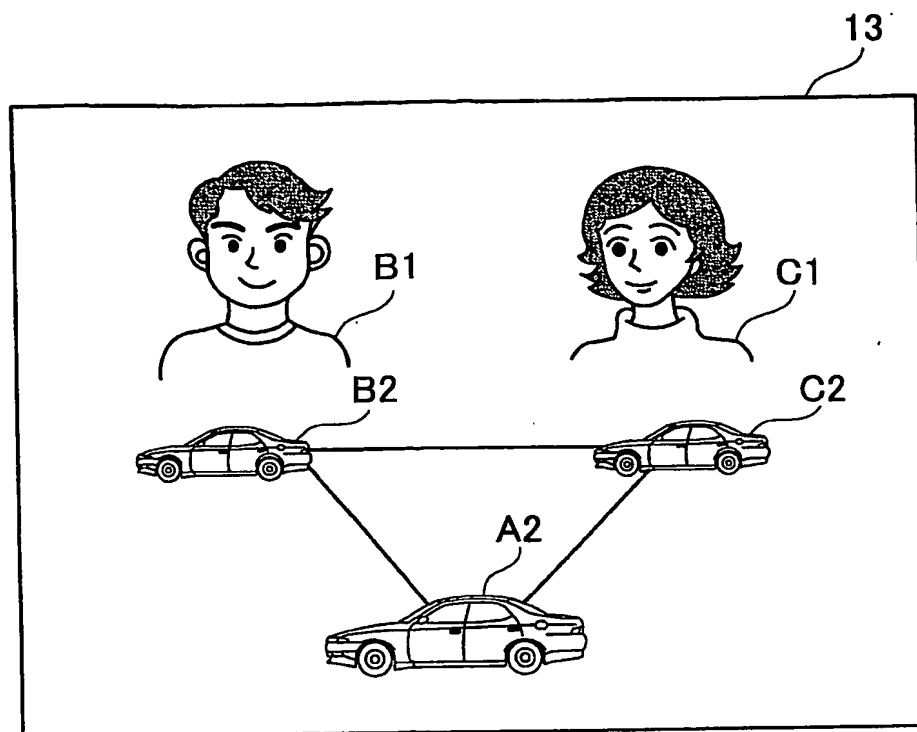
【図 2】



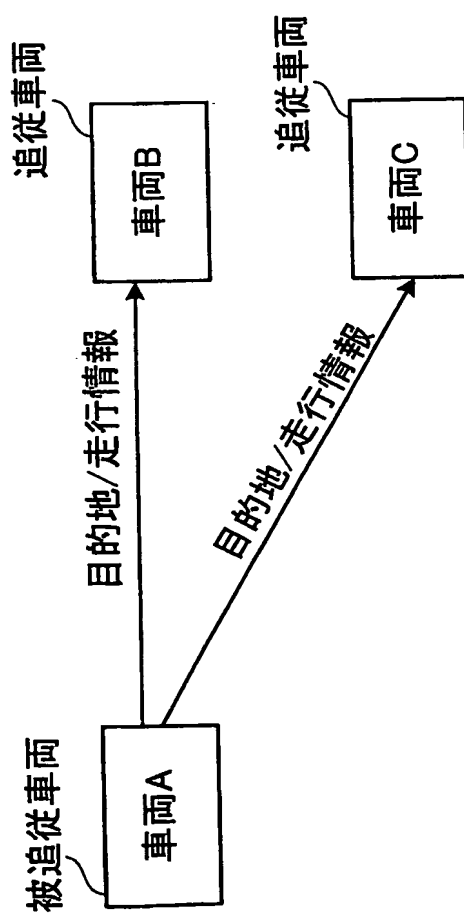
【図 3】



【図 4】



【図 5】



【要約】

【課題】 映像および音声により他車の搭乗者と通信を行うことができるとともに、自車と他車との間で走行情報の共有を行うことができる車載コミュニケーション装置を提供すること。

【解決手段】 映像および音声を入力するカメラ 11 およびマイク 12 と、自車の走行情報を処理する走行制御部 17 と、カメラ 11 から入力された映像およびマイク 12 から入力された音声並びに走行制御部 17 で処理された走行情報を他車に送信するとともに、他車からの情報を受信する通信部 16 と、通信部 16 によって受信した情報を出力する液晶ディスプレイ 13 およびスピーカ 14 とを備え、液晶ディスプレイ 13 に通信部 16 が受信した他車からの映像／音声を出力し、通信部 16 が受信した他車の走行制御部 17 からの走行情報に基づいて自車の走行を制御する。

【選択図】 図 1

特願 2003-333644

出願人履歴情報

識別番号

[000005821]

1. 変更年月日

1990年 8月28日

[変更理由]

新規登録

住 所

大阪府門真市大字門真1006番地

氏 名

松下電器産業株式会社

特願 2 0 0 3 - 3 3 3 6 4 4

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号

[0 0 0 0 0 3 2 0 7]

1. 変更年月日

1 9 9 0 年 8 月 2 7 日

[変更理由]

新規登録

住 所

愛知県豊田市トヨタ町1番地

氏 名

トヨタ自動車株式会社

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☐ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.